

-市民向け- 見附市立小中学校の適正規模等に関する 市民アンケート調査結果（速報）

令和 7 年 8 月 見附市教育委員会

1. 目的

市内の小中学校に就学している児童生徒及び小学校未就学児の保護者様、地域の方々を対象に「市立学校配置等検討委員会」による答申書の内容をお知らせするとともに、見附市の未来を託す子どもたちにとって目指すべき教育環境を実現するため、今年度「学校適正配置計画」の策定にあたり、市立小中学校の適正規模や小規模校の特色ある取組について、市民の皆様のお考えをお聞きするものです。

2. 調査対象及び調査方法

調査対象：小・中・特別支援学校に通学する児童生徒の保護者、小学校未就学児の保護者、市内にお住まいの皆様

調査方法：インターネット（Google フォーム）による回答、質問用紙による回答

周知方法：広報見附、見附市公式ホームページ、LINE 配信

各学校、保育園、認定こども園からの保護者宛てメール配信

市内の公共施設への 11 か所に答申概要・アンケート用紙を配布

3. 実施期間

令和 7 年 6 月 2 日（月）から 6 月 23 日（月）

4. 有効回答件数

合計 1,222 件

・インターネット（Google フォーム）による回答：1,218 件

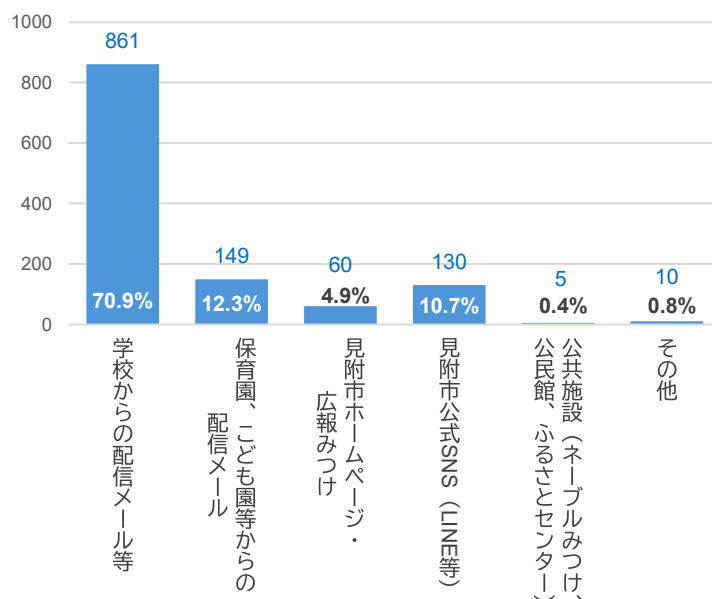
・質問用紙による回答：4 件

※構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しています

5. 調査結果

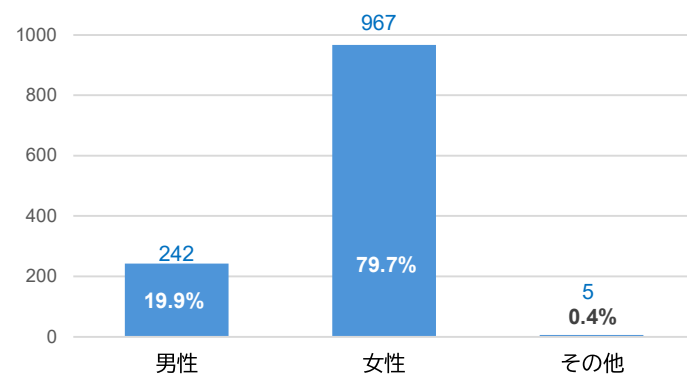
Q1. あなたはどのようにしてこの市民アンケートを知りましたか？

学校からの配信メール等	861	70.9%
保育園、こども園等からの配信メール	149	12.3%
見附市ホームページ・広報みつけ	60	4.9%
見附市公式 SNS（LINE 等）	130	10.7%
公共施設（ネーブルみつけ、公民館、ふるさとセンター）	5	0.4%
その他	10	0.8%
総計 （無回答）	1215 (7)	100%



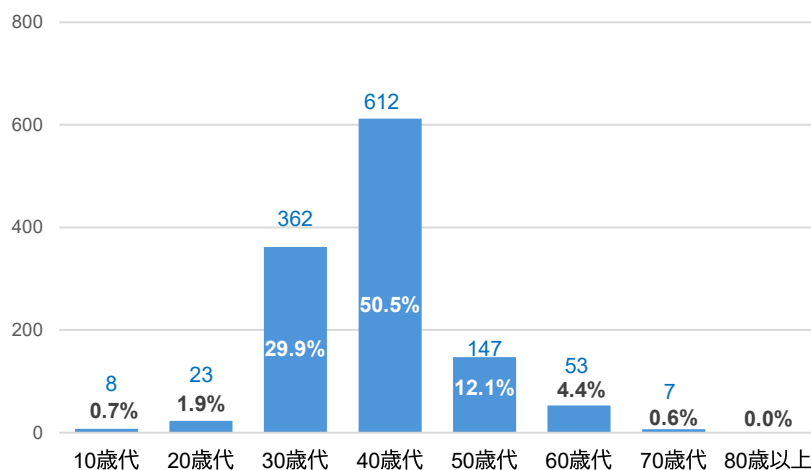
Q2. あなたの性別を教えてください。

男性	242	19.9%
女性	967	79.7%
その他	5	0.4%
総計 （無回答）	1214 (8)	100%



Q3. あなたの年齢層（年代）を選択してください。

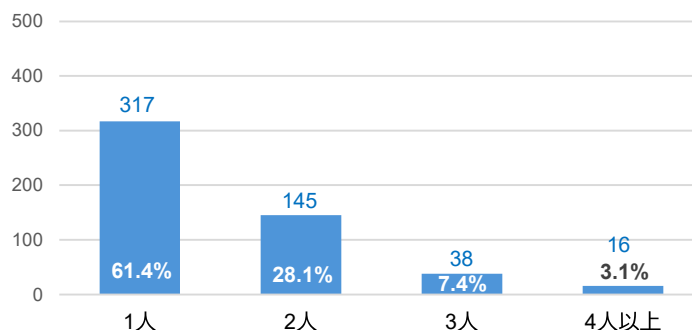
10 歳代	8	0.7%
20 歳代	23	1.9%
30 歳代	362	29.9%
40 歳代	612	50.5%
50 歳代	147	12.1%
60 歳代	53	4.4%
70 歳代	7	0.6%
80 歳以上	0	0.0%
総計 （無回答）	1212 (10)	100%



Q4 あなたの世帯構成（未成年者：満 18 歳未満）について記載してください。（未成年者がいない場合は記載不要）

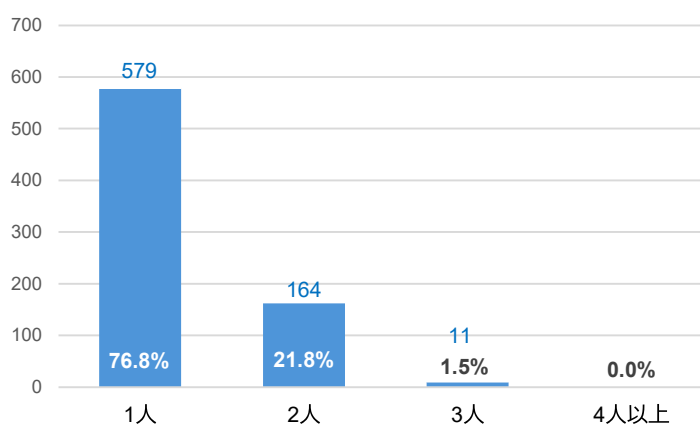
Q4-1. 未就学児は何人ですか。

1 人	317	61.4%
2 人	145	28.1%
3 人	38	7.4%
4 人以上	16	3.1%
総計 (無回答)	516 (706)	100%



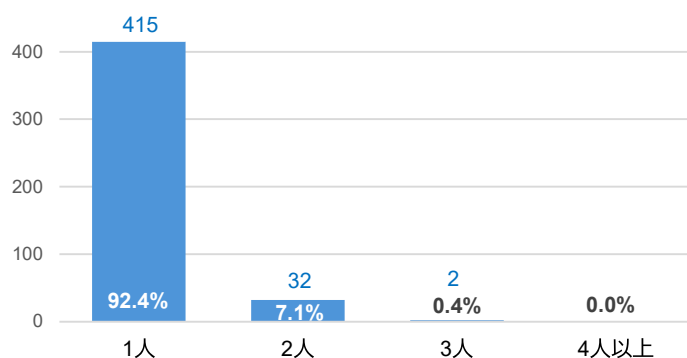
Q4-2. 小学生は何人ですか。

1 人	579	76.8%
2 人	164	21.8%
3 人	11	1.5%
4 人以上	0	0.0%
総計 (無回答)	754 (468)	100%



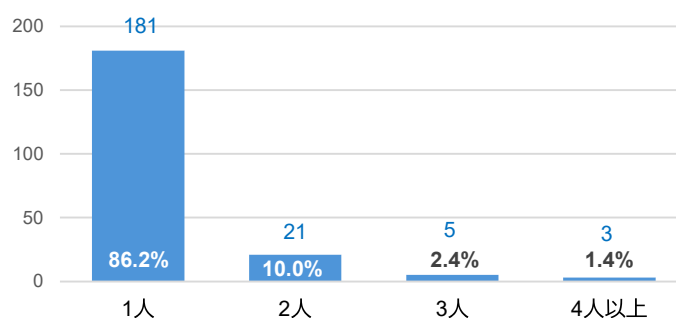
Q4-3. 中学生は何人ですか。

1 人	415	92.4%
2 人	32	7.1%
3 人	2	0.4%
4 人以上	0	0.0%
総計 (無回答)	449 (773)	100%



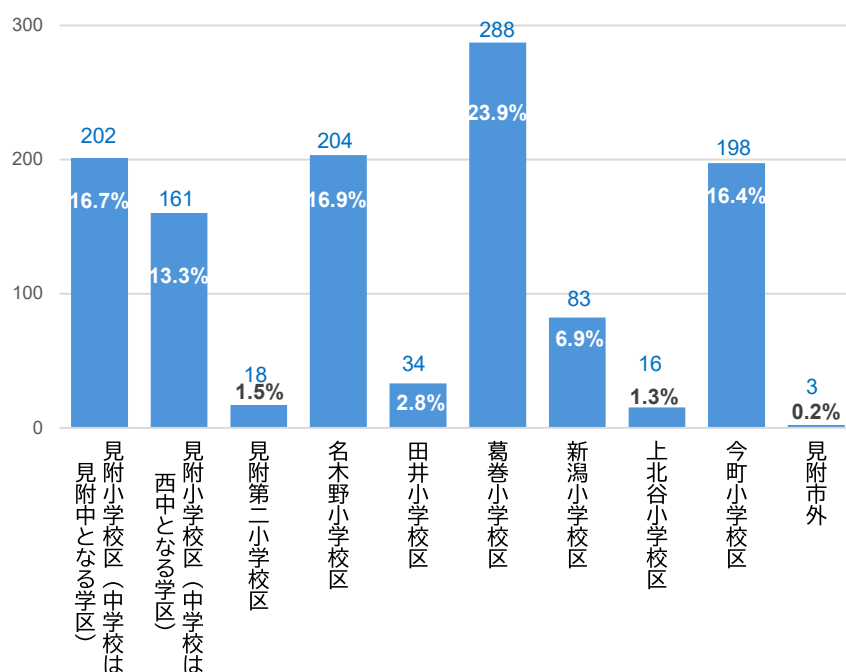
Q4-3. 高校生以上の未成年者は何人ですか。

1 人	181	86.2%
2 人	21	10.0%
3 人	5	2.4%
4 人以上	3	1.4%
総計 (無回答)	210 (1012)	100%



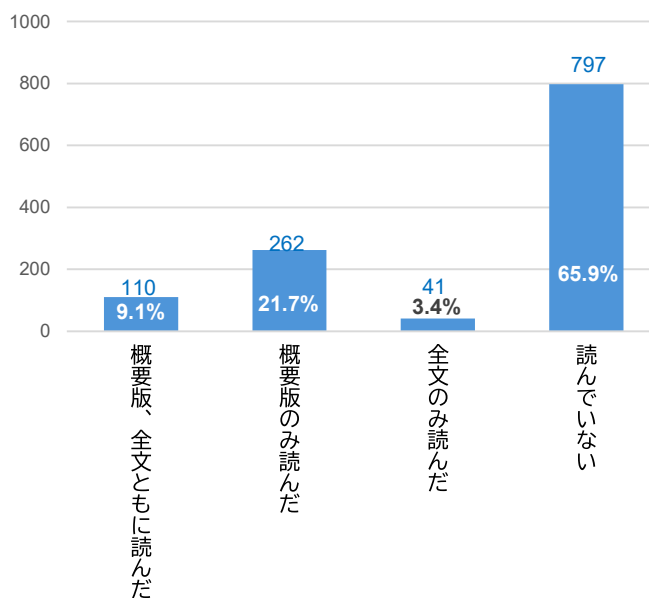
Q5. あなたがお住いの小学校区を選択してください。

見附小学校区（中学校は見附中となる学区）	202	16.7%
見附小学校区（中学校は西中となる学区）	161	13.3%
見附第二小学校区	18	1.5%
名木野小学校区	204	16.9%
田井小学校区	34	2.8%
葛巻小学校区	288	23.9%
新潟小学校区	83	6.9%
上北谷小学校区	16	1.3%
今町小学校区	198	16.4%
見附市外	3	0.2%
総計 (無回答)	1207 (15)	100%



Q6. 子どもたちの学ぶ環境について様々な課題が出てきていることから、市教育委員会は令和 6 年度に設置した「市立学校配置等検討委員会」に目指すべき教育環境について諮問を行い、令和 7 年 3 月に同委員会より答申が提出されました。あなたは、この答申をお読みになりましたか？

概要版、全文ともに読んだ	110	9.1%
概要版のみ読んだ	262	21.7%
全文のみ読んだ	41	3.4%
読んでいない	797	65.9%
総計 (無回答)	1210 (12)	100%

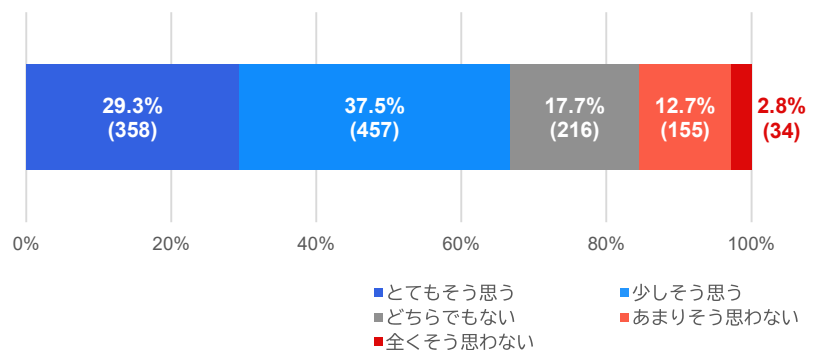


【答申】1. 見附市学校整備の基本方針では

(1)「共創郷育をより着実に推進できるように、コンパクトな見附市の良さを活かした学校配置等を検討し統合整備を行う。その際に、児童生徒の多様性に対応できる学びの場の確保と教育の質を保障するため、小規模で特色のある教育を受けることのできる環境の整備も大事にするように努める。」としています。このことについてお考えをお聞きます。

Q7. 見附市における出生数は、平成 27(2015)年の 306 人から令和 6(2024)年は 190 人となりました。より良い教育環境を目指すという観点から学校の統廃合が選択肢のひとつとして適切だと考えますか？

とてもそう思う	358	29.3%
少しそう思う	457	37.5%
どちらでもない	216	17.7%
あまりそう思わない	155	12.7%
全くそう思わない	34	2.8%
総計 (無回答)	1220 (2)	100%

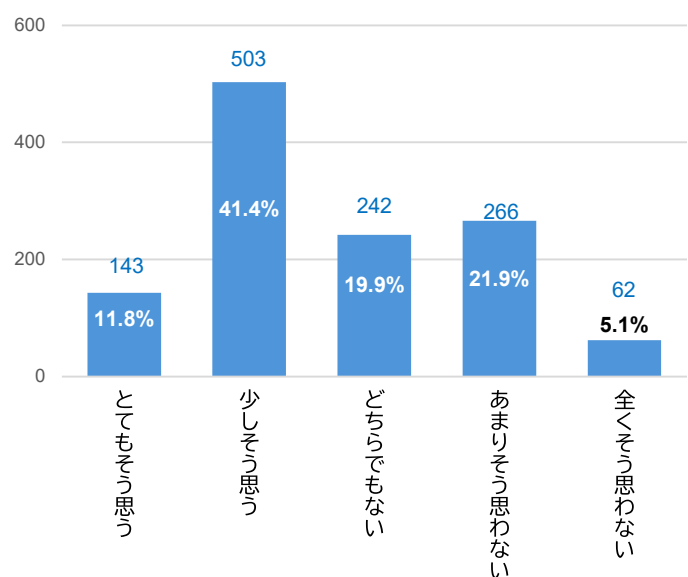


小学校、中学校のそれぞれで小規模校における特色ある取組を行うことによって、「児童生徒が少なくなることの課題」に対応することができると考えますか。

【小学校の小規模校について】

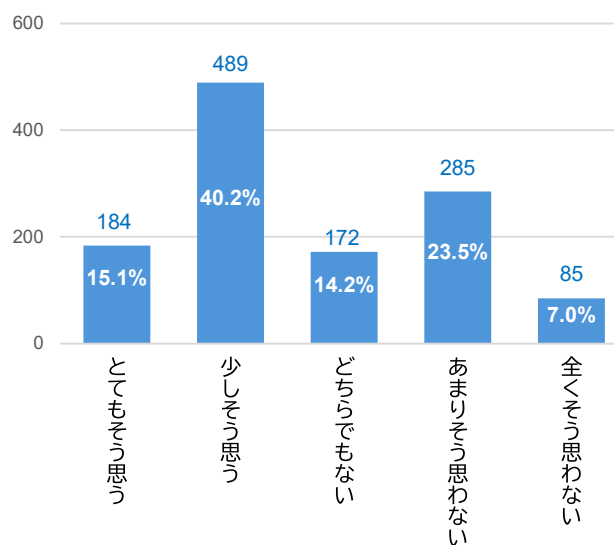
Q8 複数校による合同授業を行うことである程度対応することはできる。

とてもそう思う	143	11.8%
少しそう思う	503	41.4%
どちらでもない	242	19.9%
あまりそう思わない	266	21.9%
全くそう思わない	62	5.1%
総計 (無回答)	1216 (6)	100%



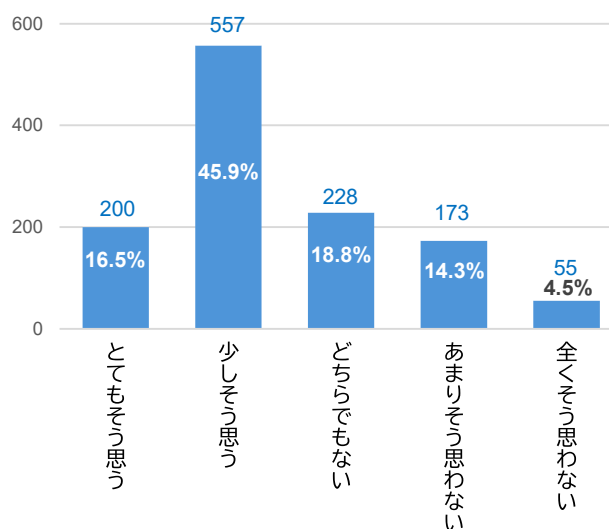
Q9. オンライン授業など IT 機器を活用することである程度対応することはできる。

とてもそう思う	184	15.1%
少しそう思う	489	40.2%
どちらでもない	172	14.2%
あまりそう思わない	285	23.5%
全くそう思わない	85	7.0%
総計 (無回答)	1215 (7)	100%



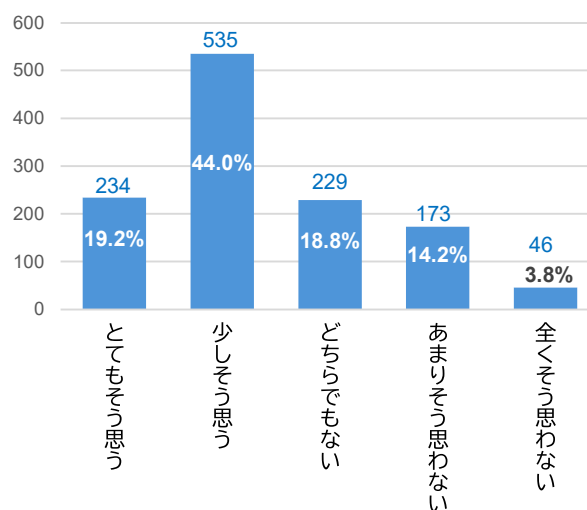
Q10. 外部の専門講師による指導を受けることによってある程度対応することはできる。

とてもそう思う	200	16.5%
少しそう思う	557	45.9%
どちらでもない	228	18.8%
あまりそう思わない	173	14.3%
全くそう思わない	55	4.5%
総計 (無回答)	1213 (9)	100%



Q11. 学区外からの児童生徒を受け入れることによってある程度対応することはできる。

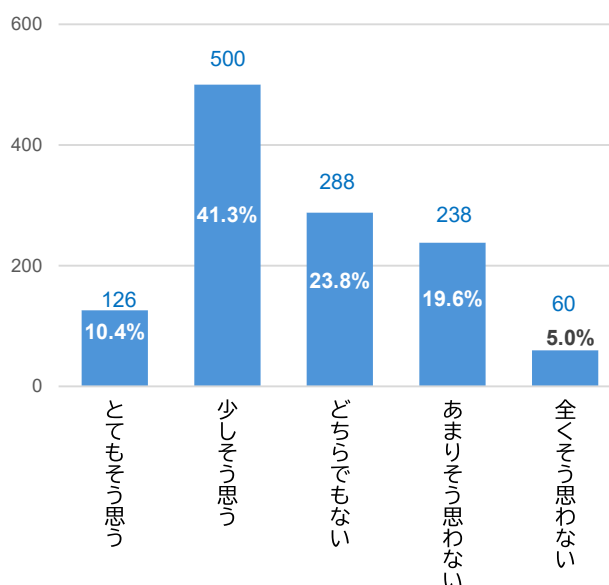
とてもそう思う	234	19.2%
少しそう思う	535	44.0%
どちらでもない	229	18.8%
あまりそう思わない	173	14.2%
全くそう思わない	46	3.8%
総計 (無回答)	1217 (5)	100%



【中学校の小規模校について】

Q12. 中学校についても、小学校のような特色のある取組を行うことによって、「児童生徒数が少なくなることの課題」に対応することができるようになると思いますか？

とてもそう思う	126	10.4%
少しそう思う	500	41.3%
どちらでもない	288	23.8%
あまりそう思わない	238	19.6%
全くそう思わない	60	5.0%
総計 (無回答)	1212 (10)	100%



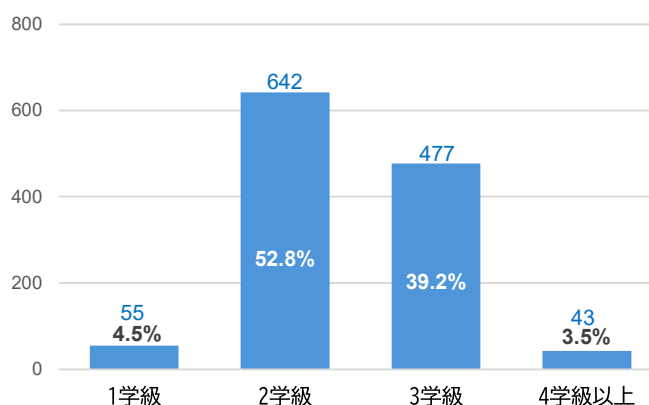
【答申】1. 見附市学校整備の基本方針では

(2)「小学校は、児童が社会性、協調性等を育むことができるように、多様な見方・考え方を活かして共に学びあう一定規模の学習集団を確保できるよう統合整備を行う。」としています。このことについてお考えをお聞かせします。

「児童生徒が少なくなることの課題」があげられています。小学校の学校規模についてあなたのお考えをお聞かせください。

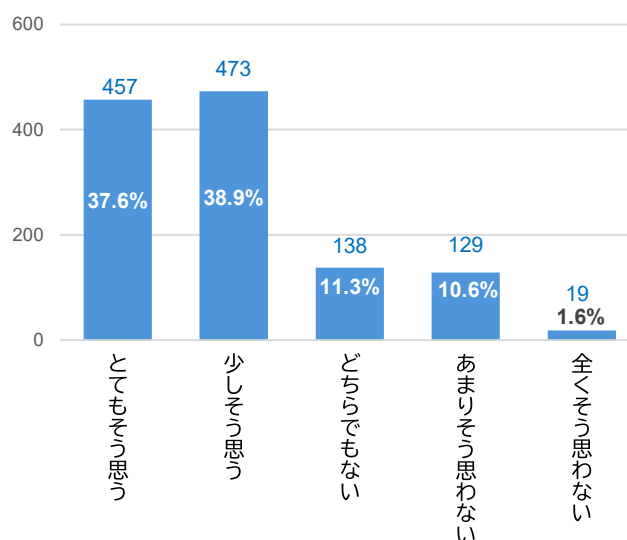
Q13. 小学校は共に学びあう一定規模の学習集団を確保できるような教育環境が望ましいとしていますが、小学校で1学年当たりの学級（クラス）数は、どの程度が良いと考えますか？

1学級	55	4.5%
2学級	642	52.8%
3学級	477	39.2%
4学級以上	43	3.5%
総計 (無回答)	1217 (5)	100%



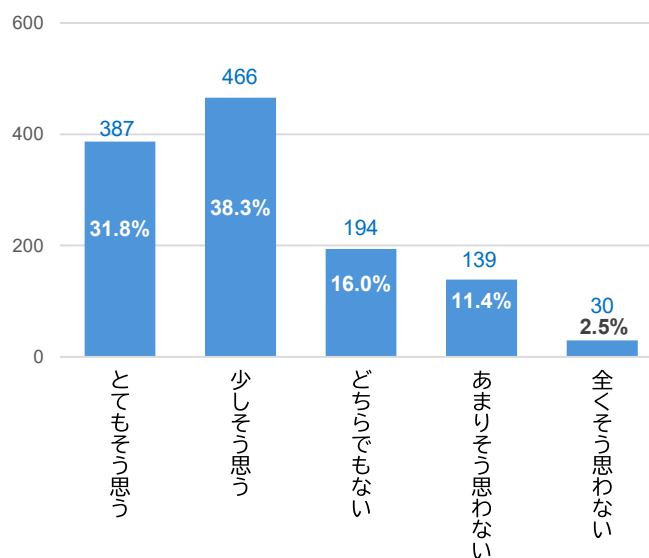
Q14. 一定規模の人数がいないと人間関係が固定化し、修復が難しい。

とてもそう思う	457	37.6%
少しそう思う	473	38.9%
どちらでもない	138	11.3%
あまりそう思わない	129	10.6%
全くそう思わない	19	1.6%
総計 (無回答)	1216 (6)	100%



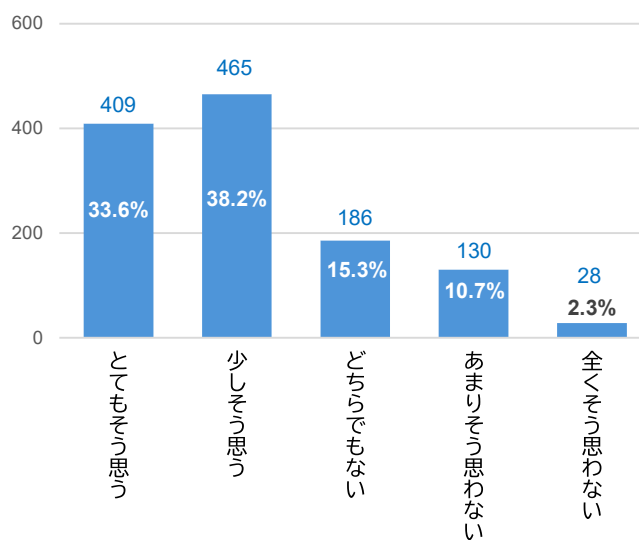
Q15. 運動会や合唱コンクールなど学校行事の実施に制約がある。

とてもそう思う	387	31.8%
少しそう思う	466	38.3%
どちらでもない	194	16.0%
あまりそう思わない	139	11.4%
全くそう思わない	30	2.5%
総計 (無回答)	1216 (6)	100%



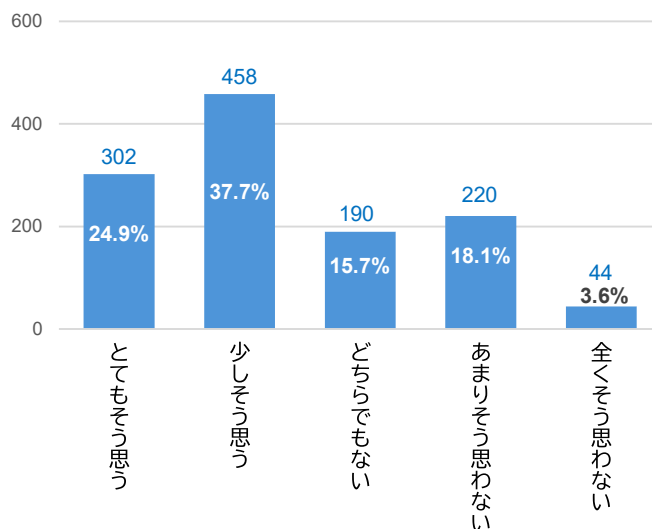
Q16. 集団の中で、多様な見方や考え方に触れる機会が少なくなりやすい。

とてもそう思う	409	33.6%
少しそう思う	465	38.2%
どちらでもない	186	15.3%
あまりそう思わない	130	10.7%
全くそう思わない	28	2.3%
総計 (無回答)	1218 (4)	100%



Q17. 一定規模の人数がいないと、多くの児童同士がかかわりあい、切磋琢磨するような環境が生まれにくくなり意欲や成長が引き出されにくい。

とてもそう思う	302	24.9%
少しそう思う	458	37.7%
どちらでもない	190	15.7%
あまりそう思わない	220	18.1%
全くそう思わない	44	3.6%
総計 (無回答)	1214 (8)	100%



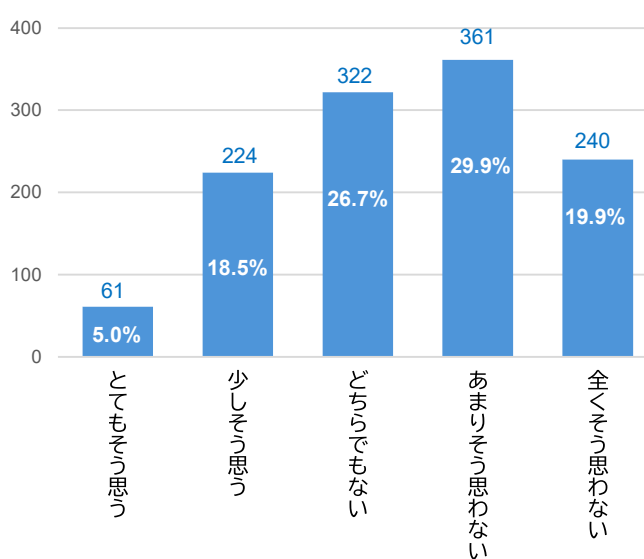
Q18. 「児童生徒が少なくなることの課題」がある一方で、一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい等の良さもあげられています。あなたのお子さんを「複式学級※」のある小規模な小学校に通わせたいと思いますか？

※複式学級とは児童が少ない為、2つの学年をひとつ学級（クラス）として編成される学級のこと。

【新潟県学級編成基準】

引き続き2の学年の児童数の合計が16人以下の場合は1学級編成とする。但し、第1学年の児童を含む学級にあっては、8人以下を1学級編成とする。

とてもそう思う	61	5.0%
少しそう思う	224	18.5%
どちらでもない	322	26.7%
あまりそう思わない	361	29.9%
全くそう思わない	240	19.9%
総計 (無回答)	1208 (14)	100%



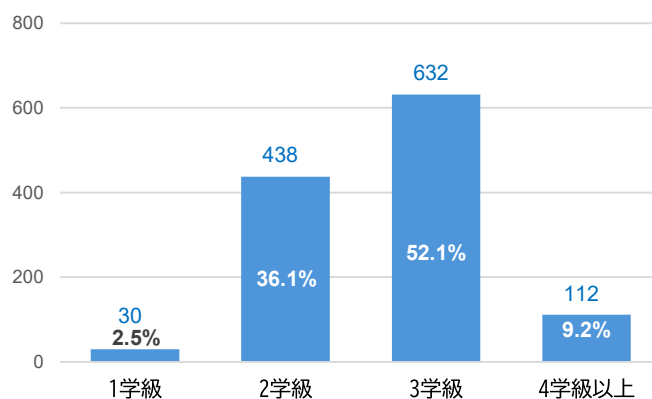
【答申】 1. 見附市学校整備の基本方針では

(3)「中学校は、教育効果の向上と教育の機会の確保を図るため、可能な限り専門教科教員を配置することができるよう統合整備を行う。」としています。このことについてお考えをお聞きます。

「児童生徒が少なくなることの課題」があげられています。中学校の学校規模についてあなたのお考えをお聞かせください。

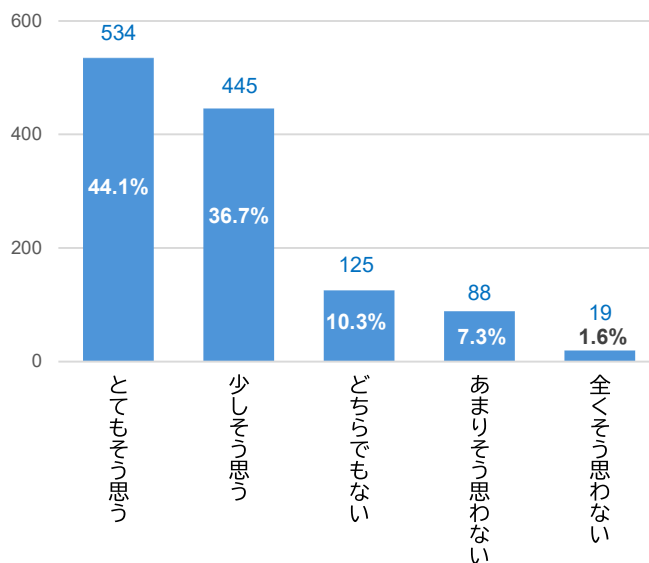
Q19. 中学校は可能な限り専門教科教員を配置できるような教育環境が望ましいとしていますが、中学校で1学年当たりの学級（クラス）数は、どの程度が良いと考えますか？

1学級	30	2.5%
2学級	438	36.1%
3学級	632	52.1%
4学級以上	112	9.2%
総計 (無回答)	1212 (10)	100%



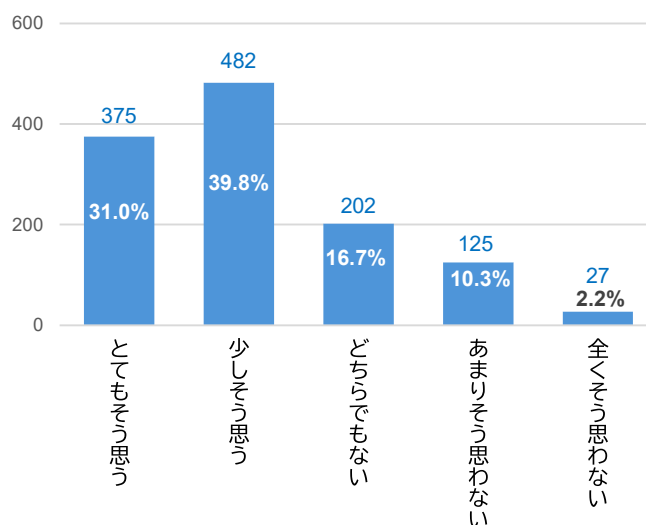
Q20. クラス替えができないと人間関係が固定化し、修復が難しい。

とてもそう思う	534	44.1%
少しそう思う	445	36.7%
どちらでもない	125	10.3%
あまりそう思わない	88	7.3%
全くそう思わない	19	1.6%
総計 (無回答)	1211 (11)	100%



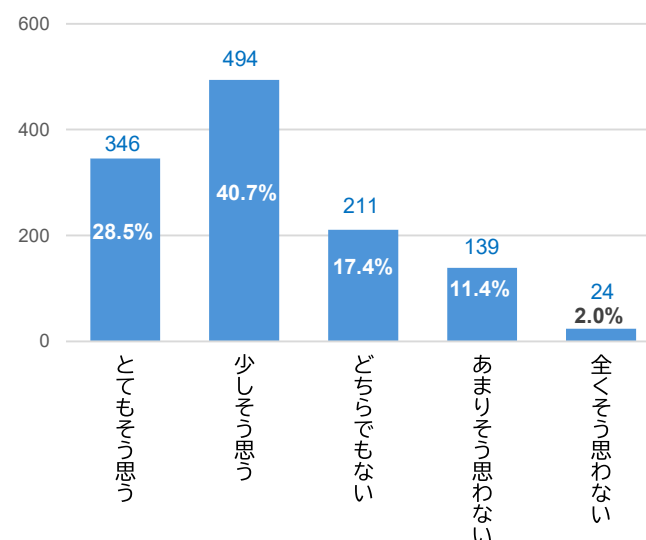
Q21. 運動会や合唱コンクールなど学校行事の実施に制約がある。

とてもそう思う	375	31.0%
少しそう思う	482	39.8%
どちらでもない	202	16.7%
あまりそう思わない	125	10.3%
全くそう思わない	27	2.2%
総計 (無回答)	1211 (11)	100%



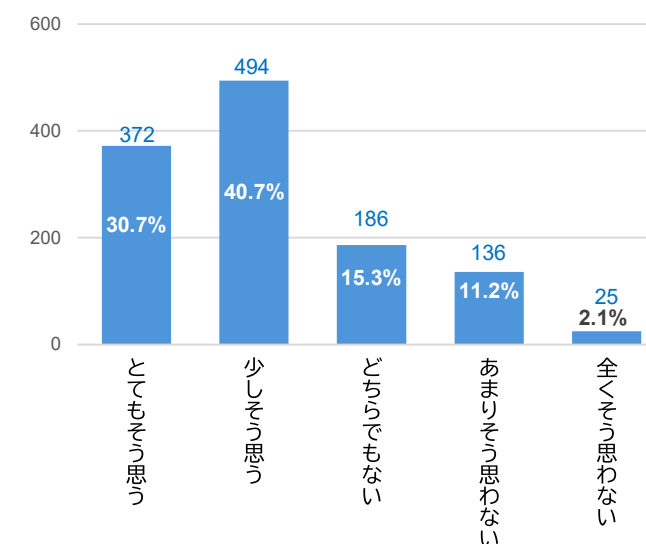
Q22. 学級（クラス）数が減ってしまうことは、配置される先生の人数が減ってしまい、専門外教科の先生が教えることがでてくるため、教育の質の低下につながるので好ましくない。

とてもそう思う	346	28.5%
少しそう思う	494	40.7%
どちらでもない	211	17.4%
あまりそう思わない	139	11.4%
全くそう思わない	24	2.0%
総計 (無回答)	1214 (8)	100%



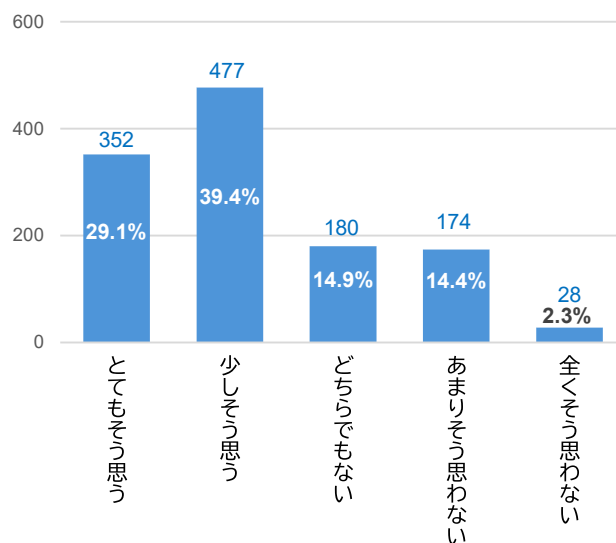
Q23. 集団の中で、多様な見方や考え方に触れる機会が少なくなりやすい。

とてもそう思う	372	30.7%
少しそう思う	494	40.7%
どちらでもない	186	15.3%
あまりそう思わない	136	11.2%
全くそう思わない	25	2.1%
総計 (無回答)	1213 (9)	100%



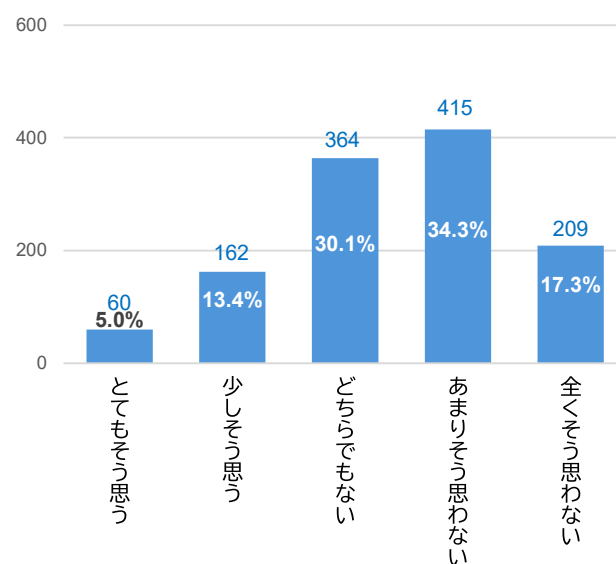
Q24. クラス替えができないと、多くの生徒同士がかかわりあい、切磋琢磨するような環境が生まれにくくなり意欲や成長が引き出されにくい。

とてもそう思う	352	29.1%
少しそう思う	477	39.4%
どちらでもない	180	14.9%
あまりそう思わない	174	14.4%
全くそう思わない	28	2.3%
総計 (無回答)	1211 (11)	100%



Q25. 「児童生徒が少なくなることの課題」がある一方で、一人ひとりの個別の活動機会を設定しやすい等の良さもあげられています。あなたのお子さんを1学年で1学級（クラス）、全校で3学級（クラス）となるような小規模な中学校に通わせたいと思いますか？

とてもそう思う	60	5.0%
少しそう思う	162	13.4%
どちらでもない	364	30.1%
あまりそう思わない	415	34.3%
全くそう思わない	209	17.3%
総計 (無回答)	1210 (12)	100%

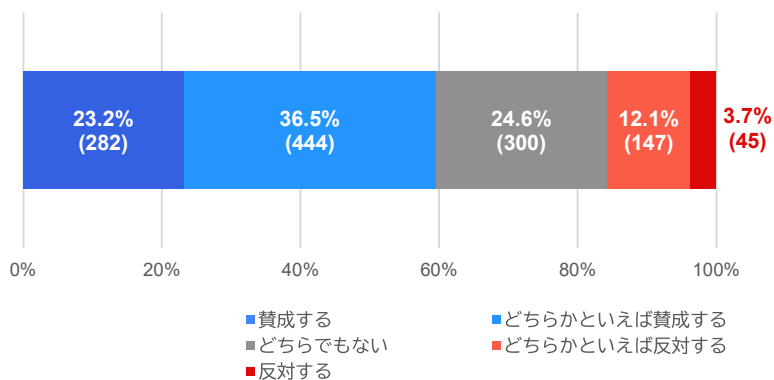


【答申】2. 目指すべき教育環境の実現に向けた方策として

(1)「持続可能な教育環境を実現するための規模に集約することとして、早期に、柔軟な学区の見直し、統廃合を行う」としています。このことについてお考えをお聞きます。

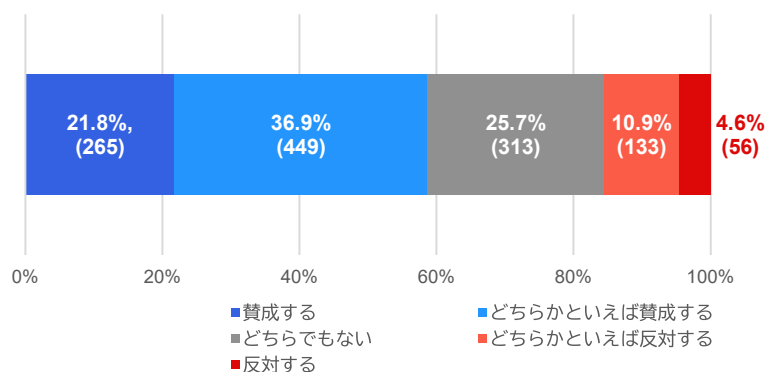
Q26. 目指すべき教育環境をつくるために、あなたの地域にある小学校で統廃合があるとしたら賛成しますか？

賛成する	282	23.2%
どちらかといえば賛成する	444	36.5%
どちらでもない	300	24.6%
どちらかといえば反対する	147	12.1%
反対する	45	3.7%
総計 (無回答)	1218 (4)	100%



Q27. 目指すべき教育環境をつくるために、あなたの地域にある中学校で統廃合があるとしたら賛成しますか？

賛成する	265	21.8%
どちらかといえば賛成する	449	36.9%
どちらでもない	313	25.7%
どちらかといえば反対する	133	10.9%
反対する	56	4.6%
総計 (無回答)	1216 (6)	100%

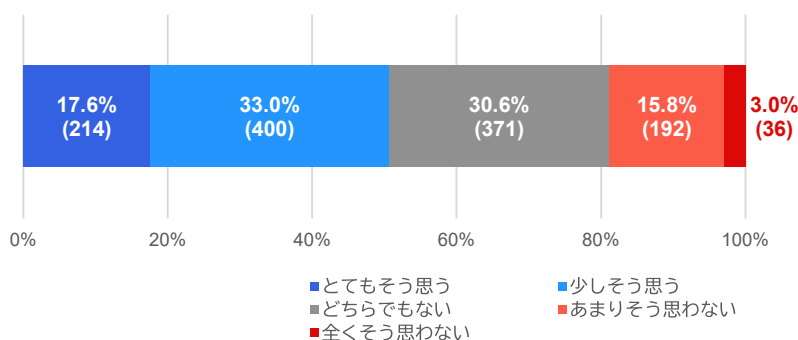


【答申】2. 目指すべき教育環境の実現に向けた方策として

(2)「共創郷育による小学校と中学校が連携した一貫教育をより着実に推進することとして、小中学校の学区について検討し見直しを行う」としています。このことについてお考えをお聞きます。

Q28. 小学校と中学校が連携した一貫教育を推進するため、別々の中学校に進学するような小学校区について見直すことが適切だと思いますか？

とてもそう思う	214	17.6%
少しそう思う	400	33.0%
どちらでもない	371	30.6%
あまりそう思わない	192	15.8%
全くそう思わない	36	3.0%
総計 (無回答)	1213 (9)	100%



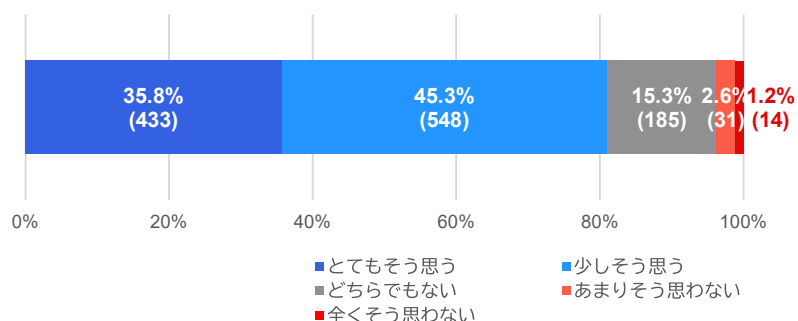
【答申】2. 目指すべき教育環境の実現に向けた方策として

(3)「多様な学びの場を選べる環境を整備することとし、オープンスクール制度※に加えて、複式学級のある小規模校から中大規模校への進学を可能とする」としています。このことについてお考えをお聞きます。

※オープンスクール制度とは、小規模、少人数で複式学級がある中で、その特性をいかした教育を推進している見附第二小学校、上北谷小学校及び田井小学校の3校を市教育委員会が国の小規模特認校制度を活用して「オープンスクール」として指定し、市内のどの学区からも就学を希望する児童の通学を認めている制度のことです。

Q29. 複式学級のある小規模校から中大規模校への通学を可能とするなど多様な学びの場を選択できることは適切だと思いますか？

とてもそう思う	433	35.8%
少しそう思う	548	45.3%
どちらでもない	185	15.3%
あまりそう思わない	31	2.6%
全くそう思わない	14	1.2%
総計 (無回答)	1211 (11)	100%



Q30. 今後の小中学校に求めること、小中学校の統廃合について等、あなたのご意見を記載してください。全体で394件の意見が寄せられました。

年代別等のクロス集計や自由意見等の回答を含めた詳細なアンケート結果は後日お知らせします